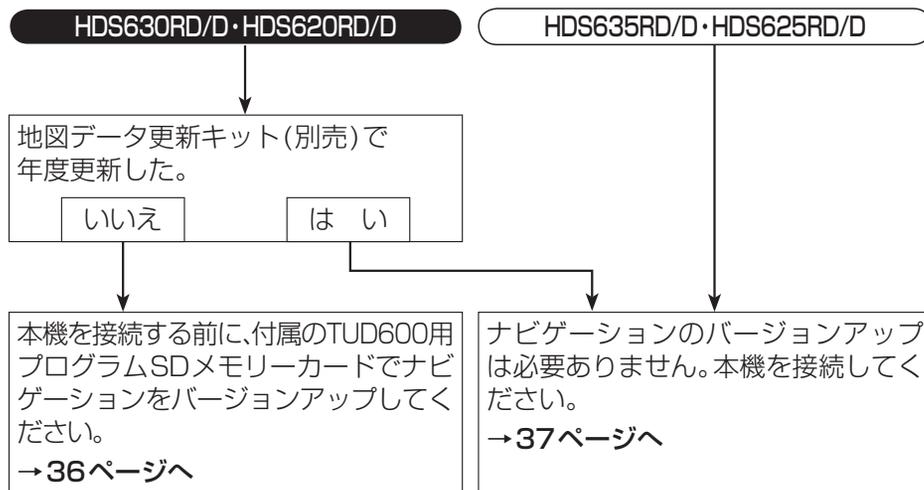


取り付け・配線

- ナビゲーションをバージョンアップする
- 取り付け・配線をする
- 取り付けを確認する

バージョンアップする前に

ナビゲーションの状態をご確認ください。



バージョンアップする

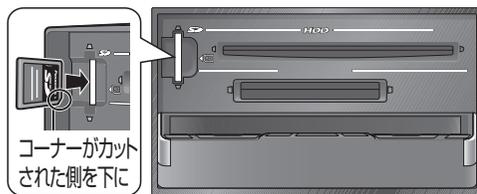
はじめに

- 「バージョンアップする前に」(P.35ページ)をご覧ください。

1 車のエンジンをかける (またはACCに入れる)

2 付属のTUD600用プログラム SDメモリーカードを ナビゲーションに挿入する

- すでにSDメモリーカードが入っていないか確認してください。



3 車のエンジンを切り (ACCをOFFにして)、 再度エンジンをかける

- プログラムの読み込みを開始します。

4 プログラムの読み込みが終了したら、 TILTを押す

- モニターが開きます。

5 付属のTUD600用プログラム SDメモリーカードを取り出す

- 必ず付属のTUD600用プログラムSDメモリーカードを取り出してください。

6 車のエンジンを切る

- モニターが閉まります。

7 再度エンジンをかける

- ナビゲーションのバージョンアップが完了しました。
→「取り付け・配線のしかた」
(P.37ページ)へ

お願い

- 付属のTUD600用プログラムSDメモリーカードは、バージョンアップ完了後も通常のSDメモリーカードとしてお使いにならずに、大切に保管してください。(何らかの理由でプログラムが破損・消失した際に、リカバリーするための備えとして必要です。)

お知らせ

- バージョンアップ完了後やバージョンアップの必要がない場合は、付属のTUD600用プログラムSDメモリーカードを挿入すると、下記の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

本機はすでにHDS600シリーズ専用
車載用地上デジタルチューナーに対応しています。
以下の手順で操作してください。

- 「TILT」を押してモニターを開く
- SDメモリーカードを取り出す
- エンジンを切る (ACCをOFF)
- エンジンをかける (ACCをON)

取り付け・配線のしかた

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。(P.2ページ)
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

作業の順序

- 1 バッテリーの ⊖ 端子をはずす
- 2 配線する
 - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
 - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- 3 取り付ける
- 4 バッテリーの ⊖ 端子を、もとに戻す

配線・取り付けの作業時には、
安全のため必ず手袋を使用してください。

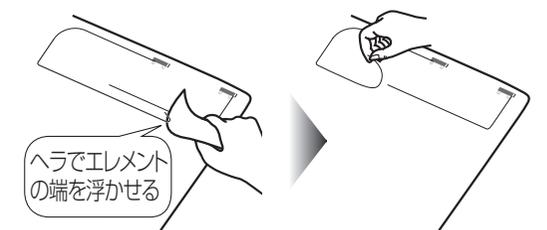
貼り付けているTV・FM多重アンテナのはがしかた

現在お使いのTV・FM多重アンテナとTV・FM多重アンテナコードを取りはずす必要があります。

- 取りはずしたあと、本製品に付属のTV・FM多重アンテナとTV・FM多重アンテナコードを取り付けてください。

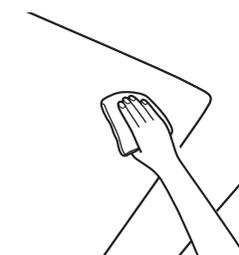
1 樹脂性のヘラなどでエレメント の端を浮かせてから、エレメント をはがす

- エレメントが断線してはがしにくい場合は、市販の接着はがし剤(グリコールエーテル、プロピルアルコール成分のもの)をご使用ください。
- 接着はがし剤をご使用の場合は、火気・換気に十分ご注意ください。



2 付属のクリーナーでガラスを拭く

- ガラスにエレメントや接着はがし剤が残ると、本製品に付属のTV・FM多重アンテナを貼り付ける際に貼付不良を起こします。付属のクリーナーで十分に拭き上げてください。
- ガラスを十分に乾燥させてから、本製品に付属のTV・FM多重アンテナを貼り付けてください。



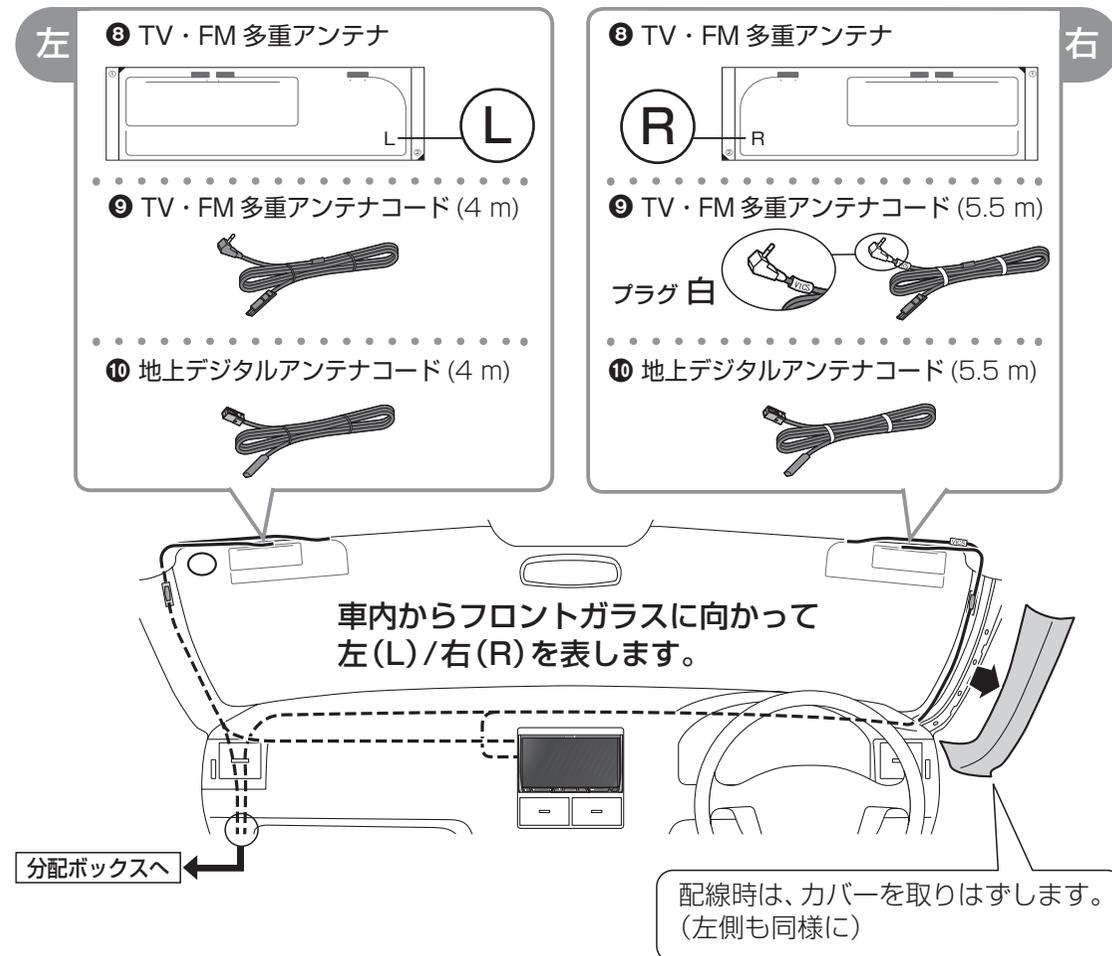
TV・FM多重アンテナの貼り付けかた

貼り付ける前に

- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。車種によって、性能が発揮できない場合があります。
熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めして、アンテナを貼り付ける位置(左右)をご確認ください。(貼りなおせません)
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して貼り付けてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

必ず車室内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。

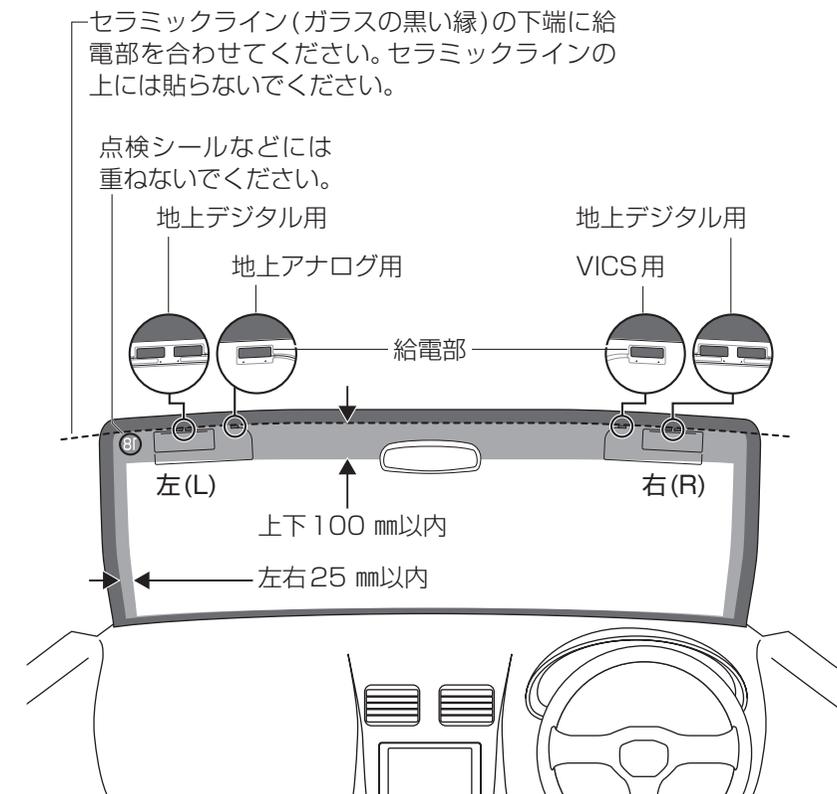
- サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 左ハンドル車の場合も、図のとおり貼り付けてください。(左右逆に貼らないでください)
- アンテナを折り曲げないように、取り扱いにご注意ください。



取付許容範囲について

国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。

※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。



TV・FM多重アンテナの貼り付けかた(つづき)

付属のクリーナー(TV・FM多重アンテナ用)で、設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取ってください。

- 右用のアンテナの貼り付けかたを例に説明しています。左側のアンテナも、右側と同様に貼り付けてください。

① フロントガラスにアンテナを貼り付ける

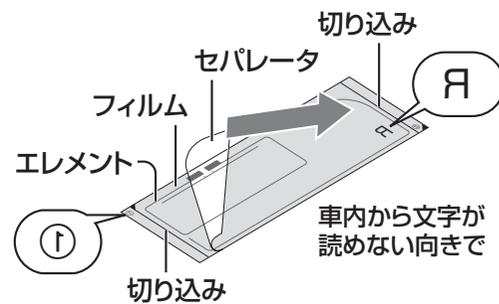
- フィルムを強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。

1 セパレータをはがす

- 急にはがさないでください。
- フィルム・エレメントの糊面に触らないでください。

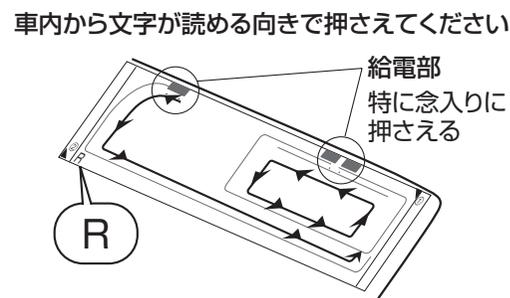
.....
エレメントがセパレータ側に残る場合

- ① セパレータをもとに戻す。
- ② 文字が読める側を上にして、ドライバーの柄など先が丸く硬いものでエレメントをこする。
 - 先のとがったものでこすらないでください。
 - 同じ部分を何度も強くこすらないでください。
- ③ 再度セパレータをはがす。



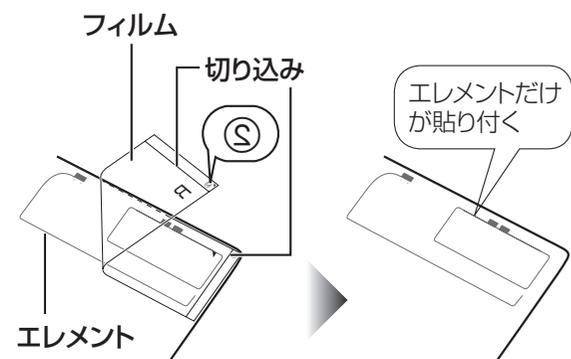
2 エレメントをしっかりとガラス面に密着させる

- 矢印の方向にこすって密着させてください。



3 フィルムをはがす

- フィルムの②部を持って、角からゆっくりと、エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながらはがしてください。
- エレメントがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してエレメント上をこすり、再度はがしてください。

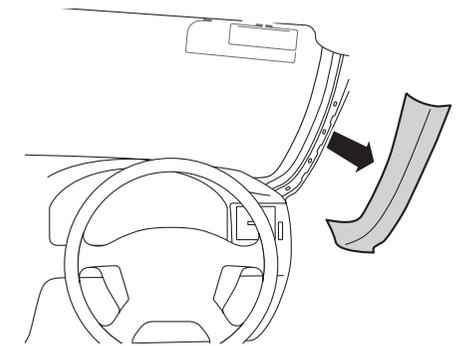


② アンテナコードを取り付ける

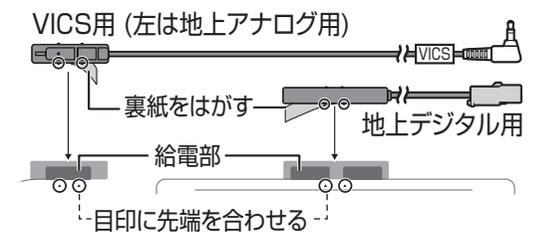
- コードの左右を必ずご確認ください。
- 端子の形状を確認してください。
- 取り付けの際、車体に傷をつけないよう十分ご注意ください。

1 車の内張り(ピラーのカバー)を取りはずす

- はずすときに、カバーのツメを折らないようにしてください。
- 左側も同様に取りはずしてください。

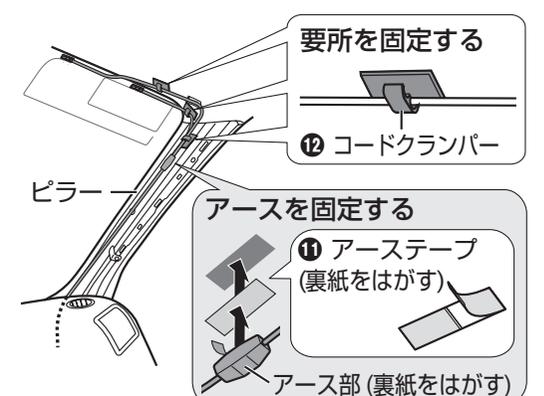


2 アンテナコードの端子を給電部に貼る



3 アース部をピラーの金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す

- 金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。
- 必ず、アース部の下にアーステープを貼り付けてください。受信感度が低下する原因になります。
- 配線後、カバーをもとに戻してください。



4 アンテナコードをナビゲーション本体に接続する(44ページ)

- ナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。

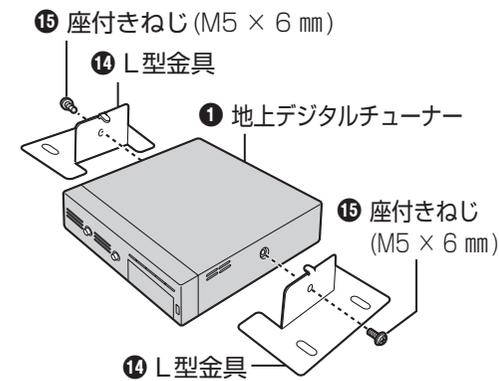
地上デジタルチューナーの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。

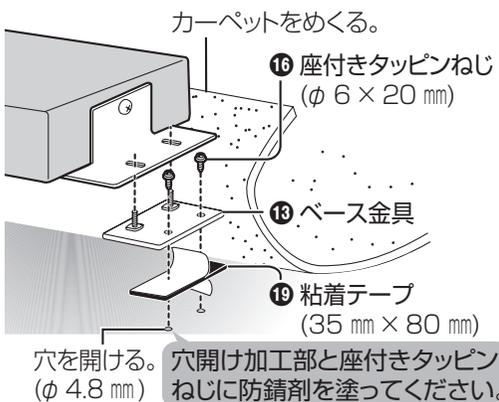
専用の金具で取り付ける (推奨)

1 L型金具を取り付ける



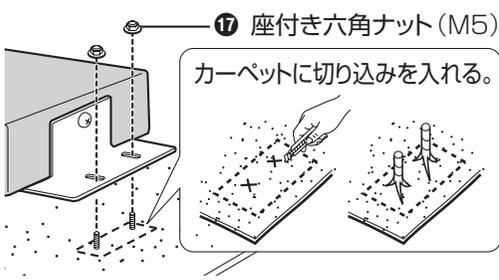
2 ベース金具を床に取り付ける

- 反対側も同様に取り付けてください。



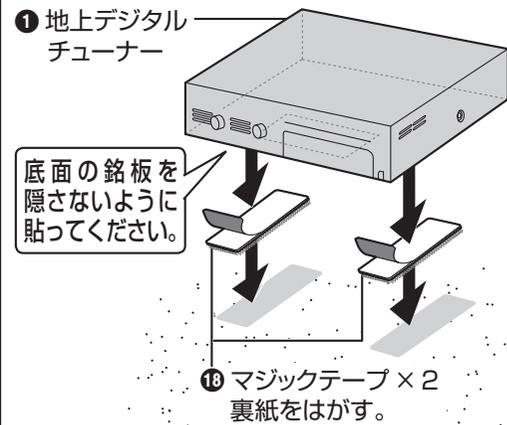
3 ベース金具に取り付ける

- 反対側も同様に取り付けてください。



マジックテープで取り付ける場合は

カーペットなどに取り付ける



販売店様へのお願い

B-CASカードは、地上デジタルテレビ放送を受信するために必要です。パッケージを開封すると、「B-CASカード使用許諾契約約款」に同意されたとみなされますので、開封せず、そのままお客様へお渡しください。

お願い

- お使いになる前にB-CASカードを挿入してください。
- 以下のところには、取り付けないでください。故障の原因になります。
 - ・水のかかる場所
 - ・足で踏まれる場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
 - ・カーペットの下など熱がこもる場所
 - ・B-CASカードの出し入れの妨げになる場所
- 本体底面を下にして、水平に対し30°以下の角度で取り付けてください。故障の原因になります。

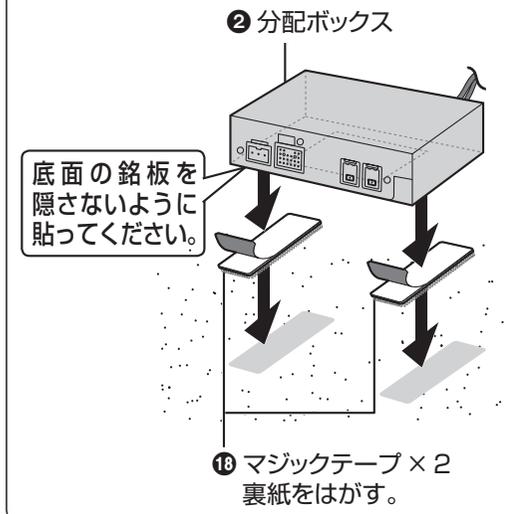
30°以下

分配ボックスの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。

カーペットなどに取り付ける



お願い

- 以下のところには、取り付けないでください。故障の原因になります。
 - ・水のかかる場所
 - ・足で踏まれる場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
 - ・カーペットの下など熱がこもる場所
- 本体底面を下にして、水平に対し30°以下の角度で取り付けてください。故障の原因になります。

30°以下

配線時のお願い

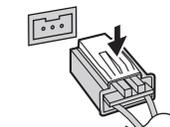
- コネクターは確実に差し込んでください。
- コードは高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで固定してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。
- ノイズ防止のため、TV・FM多重アンテナのコード、車のラジオアンテナのコード、GPSアンテナのコード、ナビゲーションのコードはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。
- 分配ボックスや地上デジタルチューナーをシート下などに取り付ける場合は、シートの移動・調整をしてもコードやコネクターに負荷が加わらないように配線してください。誤作動・故障の原因になります。

ロック付きコードの取りはずしかた

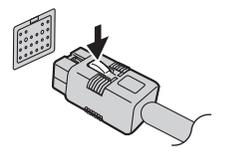
矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。

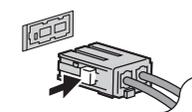
3 電源コード (分配ボックス用)



4 通信ケーブル



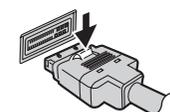
5 地上デジタルアンテナ入力ケーブル



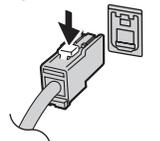
6 地上デジタルチューナー接続ケーブル (分配ボックス側)



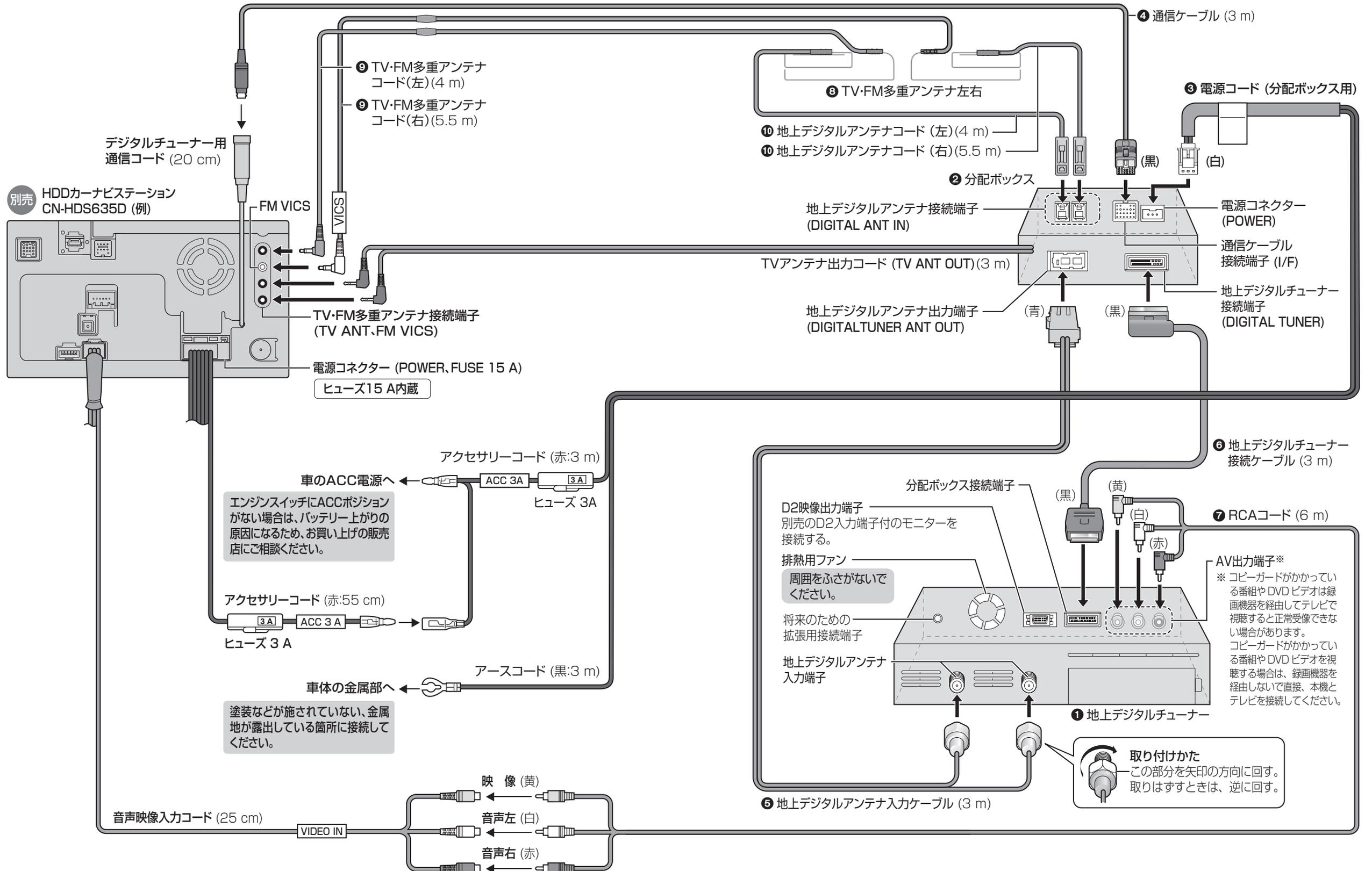
6 地上デジタルチューナー接続ケーブル (地上デジタルチューナー側)



10 地上デジタルアンテナコード



配線のしかた



取り付けを確認する

1 **MENU** を押す 

2 **情報/設定** を選ぶ



3 **情報** → **システム情報** を選ぶ



- システム情報画面が表示されます。

4 **拡張ユニット情報** を選ぶ



5 **取り付けを確認する**



- デジタルチューナーがON表示になっていることを確認してください。
- OFF表示になっている場合は、取り付け・配線を確認してください。
( 37～45ページ)